

教養講座：日本社会を学ぶ

【講座内容】

講義やディスカッション等を通じて、現代日本社会が有する課題や特性、また今後の展望について学びます。授業は、教員による講義だけでなく、学生みなさんに質問をして、それについて議論をしていくという対話形式で進めますので、自主的に問題をとらえ、自己の見解を論理的に日本語で話すという機会を多く設けます。授業では、ジェンダーや教育など、日本のみならず、国際社会においても広く共有されているテーマを扱いますので、自分の出身地域・出身国との比較的观点からも考察してほしいと思います。また、皆さんが興味を持っている日本の文化（食べ物、文学、音楽等）についても、発表・紹介してもらおう機会を設けます。この授業を通して、様々な問題に触れ、その問題の理解と分析、解決策の提案や将来の展望に至るまで、積極的に考えることで、知識だけでなく、日本語による表現力と論理的思考力を養ってほしいと思います。

【重点を置く学習内容】

会話、リスニング

【受講対象者】

できるだけわかりやすい日本語で話しますので、ネイティブレベルの日本語力を有する必要はありません。しかし、難しいテーマもありますので、講義の内容を理解し、自己の見解を表現できる程度の日本語上級者の方を対象とします。

【テキスト】

講師作成の教材・レジュメ等を電子配布

【各回の内容（全12回）】

- 1回目：オリエンテーション
- 2回目：日本の家族制度①
- 3回目：日本の家族制度②
- 4回目：日本社会におけるジェンダー
- 5回目：日本の学校事情①
- 6回目：日本の学校事情②
- 7回目：日本で暮らす外国人
- 8回目：日本の法と諸問題①
- 9回目：日本の法と諸問題②
- 10回目：日本の法と諸問題③
- 11回目：日本の慣習や文化①
- 12回目：日本の慣習や文化②